

府中市立白糸台小学校

児童数：545名
 (令和2年5月1日現在)
 芝生化面積：4,079m²
 芝生化完成年度：平成22年度

機能的な組織で、快適・安全な校庭芝生をこれからも児童に

府中市立白糸台小学校
 校長 寺田 慎吾



校庭芝生化のスタート

平成22年6月から校庭芝生化工事を始め、同年9月より使用しています。青少年の健全育成の推進を事業計画に位置づけ、それに向けて学校とPTA、校庭使用団体、そして地域の方が協力し、芝生の維持管理を通して相互関係を深めています。緑の校庭芝生、白い校舎、青い空の空間は清々しく、温かさ、柔らかさを感じます。児童は毎朝、この素敵な景色を見て登校しています。



人に優しい校庭芝生と地域とのつながり

各団体の代表が「白糸台小学校校庭芝生化推進協議会」に加わっています。専門業者の指導を受け、PTAを中心に月2~4回手入れをしています。校庭利用団体の保護者の皆さんは側溝掃除、用務員は芝刈り担当です。機能的な組織が良好な教育環境を支えています。芝生は転んでもやわらかいので、カー杯投げ、走り回れます。芝生が人に優しいことは、校庭でのけがが少なく軽微という保健室の記録からも分かります。休み時間は良い意味で児童と遠慮なく、のびのびした接し方ができます。芝生は児童の心身の感受性向上に寄与しています。特色ある教育活動のタグラグビークラブは、全国大会にも出場しています。ふだん芝生で練習していますので、試合会場の芝生に戸惑うことがありません。また、地域や幼稚園の運動会で校庭に来た方が、老若を問わず笑顔で思いっきり体を動かしている様子も印象的です。



平成28年撮影



芝生の役割とこれからの展望

過去10年間の経験を基に、新たなアイデアを織り込んで校庭芝生が地域の資産になるよう願っています。我が町の白糸台小学校とのつながりが、校庭芝生から始まる機会が増えることを期待しています。校庭芝生を利用された方が、我が町の歴史を教えてくださいました。教室での教育に加え、校庭芝生で何を教えられるかを、更に考えたいです。校庭芝生が地域の方と学校をつなぐきっかけになり、それを育むことに役立つならとてもうれしいです。

